

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
平成24年度第3回契約監視委員会 議事録

1. 日 時：平成24年12月12日（水）10：00～12：00
2. 場 所：農研機構特別会議室
3. 出席者：木村委員長、高橋委員、小林委員、竹若委員
前島委員、臼杵委員、小林委員

4. 議 題

- (1) 農研機構からの報告・提案
 - ①前回委員会での要請に対する報告
 - ②随意契約、一者応札・応募の点検について
- (2) 契約の見直しの適正性の審議・検証等
 - ①競争性のない随意契約（11件）（平成24年7月～平成24年9月）
 - ②一者応札・応募案件（59件）（平成24年7月～平成24年9月）
- (3) その他

5. 議事概要

上記議題について資料に基づき説明を行った結果、審議内容は以下の通りであった。

- (1) 前回委員会での要請に対する報告

一者応札（継続）で落札率が低かった案件について、前年度の契約状況を報告し、了承された。
- (2) 随意契約に関する事項
 - ①点検審議の前に、平成23年度における独立行政法人の契約状況（総務省公表）と農研機構の契約状況を参考情報として提供した。

独立行政法人の契約状況（件数ベース）

	競争性のない随意契約		一者応札・一者応募	
	平成20年度	平成23年度	平成20年度	平成23年度
独立行政法人全体	24.8%	15.9%	40.6%	33.3%
農 研 機 構	39.4%	14.7%	35.9%	28.2%
 - ②競争性のない随意契約について審議した結果、今後一般競争入札に移行すべきとされた案件はなかった。
- (3) 一般競争に関する事項
 - ①一者応札・一者応募に関する意見
 - ア) アンケートの取り方について、業務改善につながるような質問内容となっているか精査するよう意見があった。
 - イ) 入札説明資料の配布が一者のみの特定調達案件について、入札執行後に機構側で参加が想定された業者があれば入札説明資料を取りに来なかった理由について確認し、業務改善につなげるべきとの示唆があった。

- ウ) 企画競争により共同研究契約を締結し、その後試作品製造契約を伴う案件については、「一者応募」の区分ではなく「競争性のない随意契約」として整理すべきとの意見があった。
- エ) 一者応札・一者応募案件については、落札率が高い傾向にあるため、予定価格の算定方法に関する情報も欲しいという意見があった。

以 上